

平成 **23** 年度

水稲病害虫および雑草基本防除こよみ

● 射水市 ● J A いみず野
● 射水市農業技術者協議会

水稲病害虫防除

4月	5月	6月	7月	8月
苗箱消毒 イチバン 500倍液 播種時 ダコレート水和剤 (カビ類予防) 400~600倍液 0.5ℓ/箱 播種時~緑化期 2回以内 ・種子消毒済みです。 ・効果を高めるため浸種始めから3日間は水を交換しない。 ・水温10~15℃を保つように心がける。	播種時から田植え直前 嵐スタークル 箱粒剤 (いもち病・紋枯病 イネドロオイムシ イネミズゾウムシ) 箱当り50g ・農協から購入される苗は散布済です。	早生 (6月25日頃) 1.出穂の3~4週間前 オリゼメート 1キロ粒剤 (いもち病・白葉枯病) 1~1.3kg/10a (7月28日頃) 2.穂揃期 ノンプラストレボン粉剤DL (いもち病・ごま葉枯病 カメムシ類・ウンカ・ヨコバイ類) 4kg/10a (8月5日頃) 3.傾穂期 ラブサイドキクラブ粉剤DL (いもち病・カメムシ類 ウンカ類) 4kg/10a (収穫14日前まで)	中生 (8月2日頃) 1.出穂直前 ノンプラストレボン粉剤DL (いもち病・ごま葉枯病 カメムシ類・ウンカ・ヨコバイ類) 4kg/10a (8月9日頃) 2.穂揃期 ラブサイドキクラブ粉剤DL (いもち病・カメムシ類 ウンカ類) 4kg/10a (収穫14日前まで)	新大正糯 (8月9日頃) 1.出穂直前 ノンプラストレボン粉剤DL (いもち病・ごま葉枯病 カメムシ類・ウンカ・ヨコバイ類) 4kg/10a (8月17日頃) 2.穂揃期 ラブサイドキクラブ粉剤DL (いもち病・カメムシ類 ウンカ類) 4kg/10a (収穫14日前まで)

てんたかく

①出穂の3~4週間前 (6月25日頃) オリゼメート1キロ粒剤 (いもち病・白葉枯病) 1~1.3kg/10a (収穫14日前まで)

②出穂の5~10日前 (7月15日頃) コラトップダントツ1キロ粒剤 (いもち病・カメムシ類) 1kg/10a

コシヒカリ等

出穂の5~10日前 (コシヒカリ7月30日頃(晩生8月2日頃) コラトップダントツ1キロ粒剤 (いもち病・カメムシ類) 1kg/10a

◆各品種の生育に応じて散布して下さい。 ◆液剤体系は営農情報等を参考して下さい。
◆本田基本防除剤は、農業共済組合の補助対象農薬です。水稲作付面積に応じて配達させていただきます。

移植水稲除草体系 (除草効果を高めるには水管理が重要です。除草剤散布後7日間は落水しない。)

	初期	中期	後期
体系処理剤	移植時~3日 (ノビエ1葉期まで) ダッシュワン1キロ粒剤 (1kg/10a) 移植時~3日 (ノビエ1葉期まで) ビラクロン1キロ粒剤 (1kg/10a)	移植後25~30日 (ノビエ3葉期まで) ザーベックスDX1キロ粒剤 (1kg/10a) 移植後25~30日 (ノビエ3葉期まで) マメットSM1キロ粒剤 (1kg/10a) 移植後15~20日 (ノビエ2.5葉期まで) トップガンGT1キロ粒剤51 (1kg/10a) 移植後10~15日 (ノビエ2葉期まで) ダブルスターSB顆粒 (80g/10a) (省力化)	●ノビエ専用剤 ヒエクリン1キロ粒剤 (1kg/10a) 移植後15日~ノビエ4葉期まで (収穫45日前まで) ●ノビエ+多年生広葉雑草等 クリンチャーバスME液剤 (1ℓ/10a) 希釈水量70~100ℓ 移植後15日~ノビエ5葉期まで (収穫50日前まで) ・落水してから散布し3~4日間は入水しない。 ●多年生広葉雑草等 バサグラン粒剤 (3~4kg/10a) 移植後15~50日 (収穫60日前まで) 1) 落水状態で散布し3~4日間は入水しない。 2) 雑草発生の最盛期~揃期。 ワイドアタックSC (100ml/10a) 希釈水量100ℓ 移植後25日~ (収穫30日前まで) ●クサネム+イボクサ ノミニー液剤 (100ml/10a) 希釈水量100ℓ 移植後30日~ (収穫60日前まで) ・落水状態で散布し3日間は入水しない。
体系是正剤	移植時~5日 (ノビエ1葉期まで) ザ・ワン1キロ粒剤 (1kg/10a) 移植時~12日 (ノビエ2葉期まで) イネキング1キロ粒剤 (1kg/10a) 移植後7~12日 (ノビエ2葉期まで) シリウスターポ1キロ粒剤 (1kg/10a) 移植後5~10日 (ノビエ2葉期まで) マサカリLジャンボ (10バック/10a) 移植後5~10日 (ノビエ2葉期まで) ミスターホームランフロアブル (500ml/10a)	草が残る場合 移植後25~30日 (ノビエ3葉期まで) ザーベックスDX1キロ粒剤 (1kg/10a) 移植後25~30日 (ノビエ3葉期まで) マメットSM1キロ粒剤 (1kg/10a) 移植後20~30日 (ノビエ3葉期まで) サンパンチ1キロ粒剤 (1kg/10a) (クログワイが多い場合)	

◆軟弱苗への使用は避ける。 ◆フロアブル剤・ジャンボ剤は水持ちの悪い水田や転作跡田には使用しない。

畦畔・農道の除草体系 (除草に努め、カメムシ被害を防止)

◎除草剤の使用体系 (散布濃度は中圧スプレー20ℓに水和剤は50g、液剤は200ccを目安に希釈して下さい。)

	12月~2月の寒い時	5月 中旬	7月以降
水田畦畔	カソロン粒剤6.7 ハイバーX	バスタ液剤 ラウンドアップマックスロード(※) カーメックス-D水和剤	バスタ液剤 (収穫7日前まで) ラウンドアップマックスロード(※) (収穫前日まで) 三共の草枯らし (収穫14日前まで)(※) サンダーボルト007 (収穫14日前まで)
農道	● (使用しない)	●	●

注意事項

- 1) 作物の生育中に散布する薬剤は飛散しないようにする。
- 2) 散布後5時間以内に雨が降ると効果が劣ります。
- 3) カソロン粒剤6.7は暖かくなると効果が半減します。冬期に散布すると5月中旬まで雑草は生えません。またスギナの特効薬です。
- 4) (※)の除草剤はグリホサートを含む剤であり、使用回数は2回以内です。

・カバープランツ等を積極的に導入し、環境にやさしい米づくりを実践しましょう。

農薬の使用は、基準量・使用時期・回数を守り、安全に使いましょう。